|  |
| --- |
| 会議の結果 |
| 件　　　名 | 令和７年度田辺市社会教育委員会議　第１回定例会 |
| 日　　　時 | 令和７年５月27日（火曜日）　15時00分～17時00分 |
| 場　　　所 | 田辺市役所　２階大会議室 |
|  | ○社会教育委員出席者11名：　尾崎委員、桐本委員、九鬼委員、小山委員、砂野委員、中根委員、西川委員、松場委員、宮本委員、森下委員、柳川委員欠席者２名：　加藤委員、久保委員○事務局７名：　野田教育長、狼谷教育次長、那須生涯学習課長、大西生涯学習課参事、谷本生涯学習推進係長、橘公民館係主事、小出生涯学習推進係主査 |

１．委嘱式

２．開会　教育長挨拶

３．自己紹介

４．正副議長選出

　　　議長選出　　…　委員の互選により、松場委員が議長に選出された。

　　　副議長選出　…　委員の互選により、尾崎委員が副議長に選出された。

５．田辺市社会教育委員会議について

　　　（１）令和７～８年度田辺市社会教育委員会名簿について

　　　（２）田辺市社会教育委員会議に係る法令等について

　　　（３）令和７年度スケジュールについて

　　　以上の項目について、事務局より一括して説明を行った。（質疑応答なし）

６．説明事項・報告事項

（１）令和７年度田辺市教育行政基本方針及び各課活動方針について

（２）教育委員会機構図及び生涯学習課機構図について

（３）令和７年度社会教育関係課当初予算について

（４）令和６年度まちづくり学びあい講座の実施状況について

（５）令和７年度まちづくり学びあい講座について

（６）令和６年度生涯学習センター利用者数について

（７）令和６年度公民館活動の実績について

（８）令和７年度植芝盛平翁顕彰事業　合気道国際奉納演武について

（９）令和７年度市民体育祭及び市民スポレク祭実施計画について

（10）文化振興課行事予定について

（11）南方熊楠顕彰館行事予定について

（12）第２時田辺市生涯学習推進計画（後期基本計画）令和６年度実施報告・令和７年度実施計画について

以上の項目について、事務局より一括して説明及び報告を行った。

【質疑応答・主な意見等】

　　　Ａ委員：44ページですが、龍神公民館の公民館事業参加者が突出して多いのはなぜかわかりますか。記憶を辿れば、地域シンポジウムでも18地区周って参加者が一番多かったのが龍神地域で、龍神地域は分館も多く、公民館活動も活発ですが、公民館事業の参加者が他よりも突出して多いのが気になりました。こんなイベントが多いとか、他ではやっていないイベントがあるとか、分かる範囲でいいので、そういったものがあれば教えていただけますか。

　　　事務局：各公民館から報告された数字ですので、集計の考え方に多少のずれがあるとは思いますが、毎年龍神公民館については、これくらいの大きな数字が出ていたんじゃないかと思います。公民館事業であれば、翔龍祭のような大勢が集まったイベントがこの中に含まれている可能性があるように思います。地区公民館単独の事業として人が大勢集まるというのは少ないので、例えば、夏祭りを例に考えたときに、公民館が関わって地域や町内会が主で実施したものを含めるかどうかという拾い方の違いもあるかと思います。ただ、全体的な合計の数字の流れで見ると、コロナで減ったのがようやく増加というとおかしいですが、少しずつコロナ前に近づいてきたように思います。各館での拾い方の基準は変わっていないと思うので、その部分で8,300人の増加というのは、一定、コロナで沈んだ部分から少しずつ回復してきたという感じはあります。ただ、人口減少もあって、以前と比べて人数は頭打ちのようなところがあるので、どこかで横ばいになっていくかと思いますが、一定コロナで落ちた部分から段々上がってきているということは間違いないと思います。

　　　　副議長：データの話なので、数字の捉え方で桁が一つ変わるというのは問題だと思います。拾い方ではなくて、実際にこれくらい集まっていて、毎回公民館がこれだけ使われているとしたら、ここで何度も公民館はすごく大事で、そこの活動が社会教育の一つの大きなきっかけになるんじゃないかという議論を振り返れば、龍神で何が行われているのか、そこにもしかしたら良い事例があるという可能性もあるので、そこは一度確認いただいて、勉強させてもらってもいいんじゃないかと思いました。

　　　事務局：人数に反映されているかは別ですが、他の館もそれぞれ特色があって、特筆するような違いはないのかなと思っています。我々が見ている感覚、これまでの報告からいくと、他の地域でも特色のあることもやっていて、ふれあいスクールであれば鮎川地域が活発で、子供の居場所づくり事業であれば龍神地域が活発というように、事業によって利用者の数も違うので、龍神だけ特別にすごい建物があってすごく活発かというと、おそらく大塔や中辺路とそんなに大きな違いはないと思います。

Ａ委員：去年の資料を確認してみましたが、去年は2,442人だったのが、14,110人とすごく跳ね上がっているので、何かのイベントなのか、集計が間違っているのか、何でもいいんですが、一度確認してもらえたらと思います。

事務局：何か特徴的なものがあれば紹介させていただきます。

Ｂ委員：私も東部・南部公民館で一緒にしていますが、数字が違うように感じています。拾い方かなと思ってそっとしておきましたが、もしヒントになるようなことがあれば教えていただければと思います。

議長：この件について、Ｃ委員とＤ委員にも聞きたいところですが、本日欠席なので事務局からお二人に問い合わせていただいて、次回にでもお話伺えたらと思います。あくまでも参考にしたいというスタンスです。話題を蒸し返して申し訳ないんですが、上芳養の学社融合推進協議会に私も入っていて、そこでは色々なことをやっているということで資料をいただいているんですが、ここでは実績がゼロになっています。そのあたりもどんなふうに数えてるんだろうという疑問があるんですが、理由を聞いても数え方かなと思うので、どうやって出してきたのかなというのもちょっとありますが、参考に留めるということで次に進みたいと思います。

Ｅ委員：48ページの文教フェスティバルについて、来年のことは分からないと思うんですが、文化会館の工事が始まったら、来年はもうできないということを関係者から耳にしたんですが、来年の方向性みたいなところは現時点であるんでしょうか。

　事務局：建物自体が改修で使えなくなるので、今の時点では来年度の開催は難しいだろうということですが、代替で実施するのか、実施を見送るのか、といった最終的な判断は文化協会で会議して決めることになるかと思います。現時点では、文化会館が使えないということだけが決まっている状況です。そういった流れの中で、皆さんの中で来年はできないという話をされているんだと思いますが、最終の決定は来年度の事業計画を立てるタイミングで文化協会の方で判断されるかと思います。

７．協議

（１）人材育成事業について、事務局より説明を行った。（質疑応答なし）

協議の結果、令和７年度の人材育成事業の詳細については人材育成事業企画部会において検討す　ることとなった。

（２）専門部会の所属について、事務局から説明を行った。（質疑応答なし）

協議の結果、本年度も人材育成事業企画部会のみとなることを踏まえ、委員全員が人材育成事業企画部会に所属することとなった。

（３）各協議会等への委員派遣について協議を行い、推薦する委員を決定した。

【質疑応答・主な意見等】

議長：各協議会の会議に社会教育委員として参加してもらっているんですが、定例会で共有されていないので、それぞれの会議でどのようなことが協議されているのか、他の委員がわからないという意見が前回ありました。定例会のその他事項で各委員から報告してもらう場を設定する、事務局がそれぞれの会議スケジュールを把握して、その他事項に記載するというのは可能でしょうか。報告だけなので、一人１～２分程度で終わると思いますが、いかがでしょうか。

Ａ委員：以前は、挙手制で報告していたと思います。事務局が毎回その他事項の最後に委員から何か　ないかと聞いてくれていると思うので、そこで各委員から主体的に報告するということで良いんじゃないでしょうか。会議に参加できていない場合もあると思いますし。

議長：それでは、主体的に各委員から報告をお願いできればと思います。

Ａ委員：過去には、報告だけでなく質問するケースもあったと思います。そのときは、こんな内容の議論をしているので、伝えておいて欲しいこと、聞いてきて欲しいことはないかということでしたが、委員を代表して参加してもらっているので、それも大事なことだと思います。

Ｂ委員：市民総合センター整備方針検討委員会に関して、これまで何も共有できてなかったなと反省しています。今、少し会議が止まっていますが、再開したときにはしっかりと共有させてもらって、皆さんからの意見もいただいて、検討委員会に伝えていきたいと思います。

議長：美術館協議会の方はいかがでしょうか。

Ｆ委員：美術館協議会に関して、前任の方は美術館の利用促進という観点で発言されていたと思いますが、私の関わり方としては、美術館のコレクションがどのような位置づけで、どのように市民に還元されているかを明確にしていきたいということをお話させてもらっています。ですので、報告としてまとめられるかおぼろげな部分がありますが、社会教育的な部分を抽出して報告できればと思います。南方熊楠顕彰館運営協議会についても、こちらは本業で関わっている部分ですが、報告しづらいテーマというか会議なので、報告すべきことがあれば報告するということで進めていけたらと思います。

議長：今、どんな動きをしているのか皆さん知りたいんだと思うので、気軽に報告いただければと思います。以前聞いた、利用者数じゃなくて貸出冊数を増やすとかっていう話を少し共有いただければと思いますが、Ｇ委員お願いします。

Ｇ委員：個人の図書貸出冊数が５冊から10冊になりました。改善につながっていくとは思うんですが、もっと図書館に来てもらう方法は何かないかといつも考えています。いつも役場の図書室に行って、飾り付けをしながらどういうふうに利用してもらえるだろうかと考えています。来てくれた人と会話しながら、どんな本を借りているのか、どんなものを求めているのか、とにかく聞いています。協議会で和歌山市や海南市の図書館にも研修で行かせてもらいましたが、どこも段々利用者が減ってきていて、イベントをやることに一所懸命になっているということで、規模にかかわらず同じことを考えてるなと感じました。その中で、既存の利用者を大切にしながら、新しいことを考えながら取り組んでいくという姿勢が勉強になりました。10冊借りれるようになって、貸出冊数がどれだけ増えて、図書館に来てくれる人がどれだけ増えるのか、とても気になっていて、協議会での報告を楽しみにしています。

議長：初めて参加されたＨ委員いかがでしょうか。感想だけでもいただければと思います。

Ｈ委員：この会議を知るというのが、今日の自分の目標だったんですが、まだ知れたという感覚にはなってないんです。この会議は熱い議論が飛び交うとても良い会議だという話を前任の方からも聞いていて、今日はそういうところをひしひしと感じるところがありました。今まで学校教育にしか関わってこなかったので、この会議が他のことをたくさん知れる素晴らしい場になるんだろうなという予感がしています。とても次が楽しみになりました。

８．その他

　　　（１）第１回人材育成事業企画部会及び第２回定例会の日程調整について

　　　　・事務局より、第１回人材育成事業企画部会及び第２回定例会の日程調整に係る連絡を行った。それぞれの会議日程については、議長・副議長等のスケジュール調整の上、後日郵送にて各委員に通知することとした。

９．閉会　議長挨拶